

2-(6) 研究者のアクセス手法

東京大学附属図書館長

西郷 和彦

研究者のアクセス手法といっても、研究分野によって大きく異なる。そこで本講義では、私の専門領域である有機合成化学の分野で、研究者はどのようにして学術情報にアクセスしているかを解説する。また、大学にとって教育も重要な使命であるとの立場から、研究者ばかりでなく研究者の卵(学生)のアクセス手法についても触れたい。

1. 基本的書籍へのアクセス (研究室所蔵)

1) 便覧類

化学便覧 基礎編	化学便覧 応用編
理化学辞典	化学辞典
機器分析ハンドブック	有機化合物辞典
Aldrich Library of FT-IR Spectra	Aldrich Library of ^{13}C and ^1H FTNMR Spectra

2) シリーズ類

新実験化学講座	実験化学講座
Comprehensive Organic Synthesis	Dictionary of Organic Compounds

2. 電子媒体へのアクセス (全学システム)

1-1) SciFinder Scholar

構造式 (全体, 一部)	CAPLUS 1907-
反応例	MEOLINE 1950-
トピック	CASREACT 1840-

2-1) e-Journal

3-1) OPAC/Webcat

4-1) Google

2-2) e-Book

2-3) WIPO (特許庁 HP)

2-4) SDBS (産総研/スペクトルデータ)

1 - 2) Web of Science 1970-

3. 紙媒体へのアクセス/拾い読み (研究室所蔵)

1) ジャーナル類

Bull. Chem. Soc. Jpn.

J. Am. Chem. Soc.

Org. Lett.

Tetrahedron Lett.

Angew. Chem. Int. Ed.

Synlett

Supramol. Chem.

Chem. Lett.

J. Org. Chem.

Tetrahedron

Tetrahedron: Asymmetry

Synthesis

Chirality

2) 二次情報誌類

化学と工業

高分子

Chemical & Engineering News

有機合成協会誌

日本結晶学会誌